鍋林建工株式会社



環境経営レポート

（対象期間：2025年4月1日～2026年3月31日）

2025年度版

2025年７月10日発行
鍋 林 建 工 株 式 会 社
代表取締役社長　倉科　明

【 目 次 】

1. 事業活動の概要 1 ～ 3

(1) 事業者名及び代表者名

(2) 所在地

(3) 環境管理責任者及び担当者、連絡先

(4) 事業内容

(5) 事業の規模

(6) EA21対象範囲

(7) 実施体制図

2. 環境経営方針 4

3. アクセス 5

4. 主な環境負荷の実績 6

5. 環境経営目標 7

＊単年度及び中・長期の目標

6. 環境経営計画 8

＊環境経営計画と主な取組

7. 環境活動の取組結果と評価 9 ～ 11

(1) 環境経営目標の実績とその評価、並びに次年度の目標

(2) 環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の計画

(3) 環境管理責任者の評価

(4) 代表者の評価

8. 環境関連法規制と遵守状況 10

1．事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

鍋林建工株式会社

代表取締役社長　倉科　明

（設立）昭和53年4月5日

(2) 所在地

（本社・松本営業所）	〒390-0851　長野県松本市大字島内3501-1
（長野営業所）	〒380-0913　長野県長野市川合新田字村西956-1
（新潟営業所）	〒950-0923　新潟県新潟市中央区姥ケ山2-19-12

(3) 環境管理責任者及び担当者、連絡先

（環境管理責任者）	取締役総務部長　百瀬　登
（事務局）	山田　知史
（長野営業所）	所長　鈴木　雄一
（新潟営業所）	泉田　まりな

（本社・松本営業所連絡先）	☎（0263）48－3501	fax（0263）48－3502
（長野営業所連絡先）	☎（026）221－0232	fax（026）221－5045
（新潟営業所連絡先）	☎（025）286－1841	fax（025）286－1842

(4) 事業内容

（建設業）

一般住宅設計施工、防水工事、左官工事、鋼構造物工事、塗装工事、とび・土工工事、解体工事

(5) 事業の規模

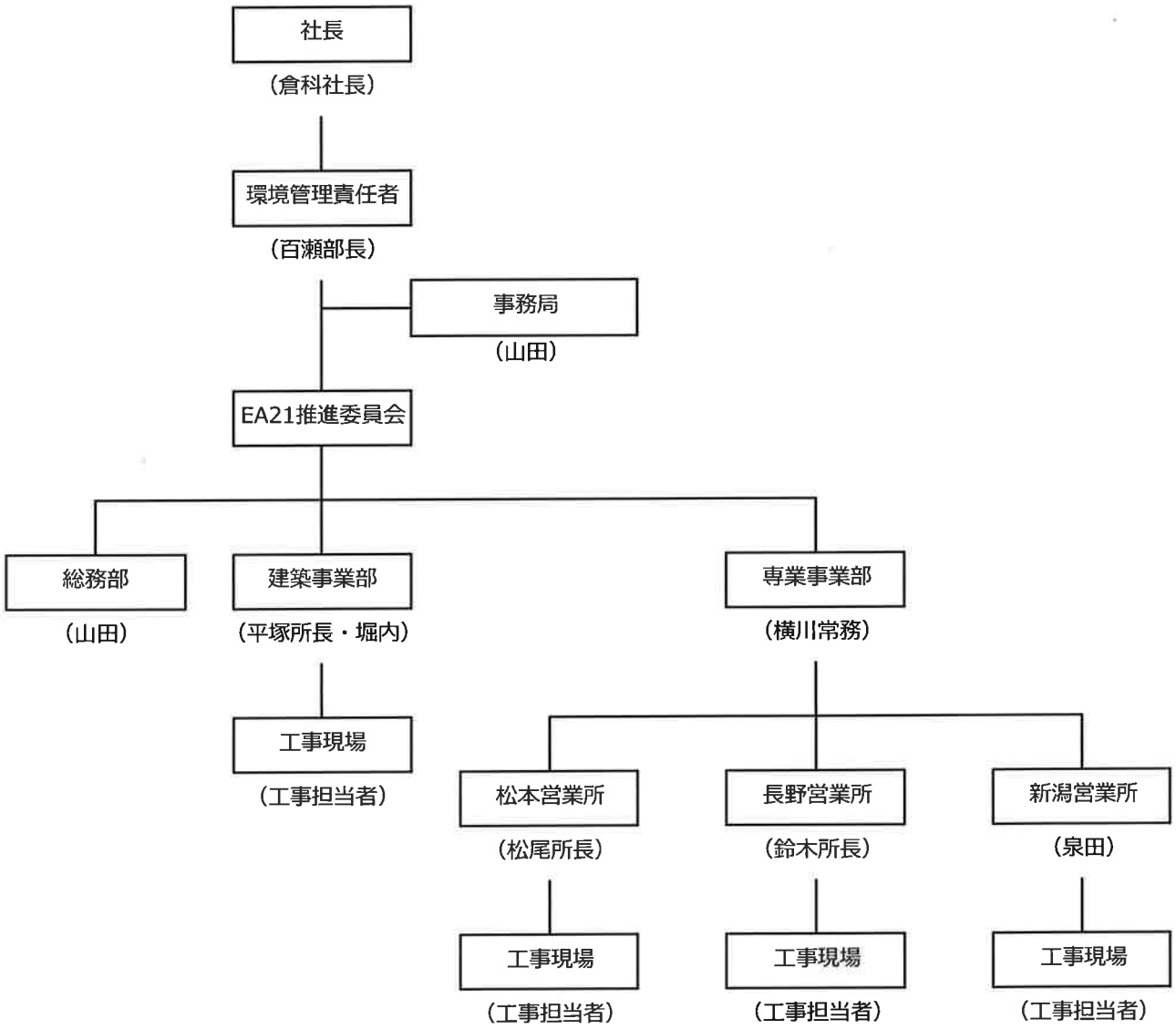
（資本金）	2,000万円	
（従業員）	29名	
（延べ床面積）	1,566㎡	
本社・松本営業所	（事務所）725㎡	（倉庫）297㎡
長野営業所	（事務所）111㎡	（倉庫）223㎡
新潟営業所	（事務所）89㎡	（倉庫）121㎡

(6) EA21対象範囲

本社・松本営業所、長野営業所、新潟営業所、建設現場

（7）実施体制図

1.体制図


社長
（倉科社長）
環境管理責任者
（百瀬部長）
事務局
（山田）
EA21推進委員会
総務部
（山田）
建築事業部
（平塚所長・堀内）
専業事業部
（横川常務）
工事現場
（工事担当者）
松本営業所
（松尾所長）
長野営業所
（鈴木所長）
新潟営業所
（泉田）
工事現場
（工事担当者）
工事現場
（工事担当者）
工事現場
（工事担当者）

（7）実施体制図

2.　責任及び権限

1）社長

① EA21に関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
② EA21の実施及び管理に必要な資源を用意する。資源には、人的資源、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。
③ 環境管理責任者を任命する。
④ 環境方針の設定・見直し及び従業員へ伝達を行なう。
⑤ 代表者による全体の評価と見直しを実施する。
⑥ EA21推進委員の任命

2）環境管理責任者

① EA21を構築し、実施し、管理する。
② 環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し、承認する。
③ 法規制等の取りまとめを行い、遵守状況をチェックする。
④ 環境目標を設定し、環境活動計画を確認し承認する。
⑤ 環境活動の取組状況を確認し、環境目標の達成状況を評価する。
⑥ 問題点の是正・予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行う。
⑦ 環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
⑧ EA21推進委員会会議の招集

3）各部門長

① 自部門におけるEA21の実施
② 自部門における環境方針の周知
③ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施
④ 自部門に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告
⑤ 特定された項目の手順書作成及び運用管理
⑥ 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録
⑦ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施

4）工事現場責任者

① 工事現場におけるＥＡ２１の実施
② 工事現場に関連する環境目標及び環境活動計画の実施及び達成状況の報告
③ 工事現場における環境負荷低減活動の実施及び緊急事態対応

5）EA21事務局

① 環境管理責任者の事務局
② 環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェック原案の作成
③ 「環境関連法規等の取りまとめ／遵守チェック表」原案の作成
④ 環境目標原案の作成
⑤ 環境活動計画原案作成
⑥ 環境活動実績集計
⑦ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口

6）EA21推進委員会

① 委員は各部門から選出される。
② 各部門の代表として率先してEA21の活動を推進する。
③ 各部門メンバーの指導と意見の集約をする。
④ EA21のガイドラインを理解し実践する。
⑤ 環境目標達成を阻害する要因を審議する。
⑥ 審議の上環境目標達成の施策を提案する。

環境経営方針

鍋林建工株式会社は事業活動及び製品・サービスを通じて、地域環境の保全、自然との調和と共生を実現する為に、下記の通り事業活動における環境負荷低減を常に意識し、継続的維持可能な循環型社会に組織が自主的かつ積極的に取り組みます。

行動指針

1. 環境マネジメントを理解し、PDCA サイクルにより継続的改善をしていく。
2. 環境関連法規を遵守する。
3. 環境負荷軽減をしていく。
   - ①二酸化炭素排出量の削減
   - ②化学物質の低減とグリーン調達の推進
   - ③廃棄物と水資源使用の削減とリサイクル活用の推進
   - ④省エネでエコな建築工法の推進
4. SDGｓの取組みと合わせた相乗的な活動をしていく
   - (1) EA21 の活動による CO2 削減 (2) セイフティドライブカード取得
   - (3) 建設キャリアアップシステム加入推進

環境方針と行動指針を全社員に周知し実施する。我々のこの取り組みがお取引先や地域の方々へ波及していくことを願っている。

2023 年 4 月 1 日

鍋林建工株式会社　代表取締役社長　　倉科　明

3．アクセス

本社アクセスマップ

本社【建築事業部・専業事業部】



- 所在地：　〒390-0851
  長野県松本市大字島内3501-1
- ＴＥＬ：　0263-48-3501（代）
- ＦＡＸ：　0263-48-3502

長野営業所アクセスマップ

長野営業所【建築事業部・専業事業部】



- 所在地：　〒380-0913
  長野県長野市川合新田字村西956-1
- ＴＥＬ：　026-221-0232
- ＦＡＸ：　026-221-5045

新潟営業所アクセスマップ

新潟営業所【専業事業部】



- 所在地：　〒950-0923
  新潟県新潟市鍋ヶ山2-19-12
- ＴＥＬ：　025-286-1841
- ＦＡＸ：　025-286-1842

4．主な環境負荷の実績

※会社全体（事務所と現場）及び事務所合計実績の集計

項目	単位	2023年度 実績	2024年度 実績	2025年度 実績
二酸化炭素排出量	ｋｇ－CO２／年	132,639	168,738	140,534
電力	ｋｗｈ／年	34,096	31,936	31,450
ガソリン	リットル／年	37,023	40,220	34,883
灯油	リットル／年	6,943	10,691	7,596
廃棄物排出量	ｔ／年	200.4	363.8	299.0
水使用量	m3／年	263	252	290
省エネ関連工事の受注	件数／年	20	18	23
OA紙使用量	枚数／年	193,000	184,000	174,500
グリーン購入（水溶性塗料）	購入数 セット／年	5	9	24
地域活動	周辺清掃 回数／年	15	12	12

注：事業年度＝4月～3月

事務所、現場等当社が関係し、集計可能なデータをすべて引用しました。

電力の二酸化炭素排出量算定、調整後排出係数：中部電力ミライズ0.376kg-CO2/kwh　東北電力0.400kg-CO2/kwh

令和6年度実績（R8.2.25環境省・経済産業省公表）

5．環境経営目標

＊単年度及び中・長期の目標

項目	単位	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2030年度
		年度目標	年度目標	年度目標	年度目標	年度目標
		（前年実績から1.36%削減）				（2019年から15.3%削減）
二酸化炭素排出量	ｋｇ－CO2／年	166,443	164,179	161,946	159,743	92,456
電力	ｋｗｈ／年	31,501	31,072	30,649	30,232	
ガソリン	リットル／年	39,673	39,133	38,600	38,075	
灯油	リットル／年	10,545	10,401	10,259	10,119	
廃棄物排出量	ｔ／年	358.0	353	348.0	343.0	
水使用量	m3／年	248	244	240	236	
省エネ関連工事の受注	件数／年	（対前年１件増加）19	（対前年１件増加）20	（対前年１件増加）21	（対前年１件増加）22	
OA紙使用量	枚数／年	181,497	179,028	176,000	173,000	
グリーン購入（水溶性塗料）	購入数セット／年	（対前年１件増加）10	（対前年１件増加）11	（対前年１件増加）12	（対前年１件増加）13	
地域活動	周辺清掃回数／年	13	14	15	16	

＊2030年度目標は、長野県ＳＤＧｓ推進企業登録目標のため、CO2削減目標のみ表示します。

＊2025年度の実績はR6年度の排出係数を用いている。中期的な排出量の変化を正確に取らえるために、2026年、2027年の二酸化炭素排出量算定目標、実績にはＲ6年度の実績係数を用いることとする。

＊軽油使用量に関して、2026年度実績を基準として、2027年度から軽油使用量を削減目標に掲げていく

★「化学物質の使用量の削減」の目標に関して、この目標は当社の企業活動に大きく影響を及ぼすため、目標とはせずに化学物質の扱い量を品目ごとに管理、記録していく。また環境にやさしい建材、省エネ工事を推進していく。

6．環境経営計画

＊環境経営計画と主な取組

項目		2025年度活動計画	主な取組
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	エアコンの温度設定（ 事務所：冷房28℃、暖房20℃、現場事務所：冷房26℃、暖房20℃）	こまめな温度管理
		コピー機等の効率化使用、PC電源OFF	啓蒙活動
		昼休みの60分間消灯	継続実施
		未使用換気扇電源OFF	〃
	ガソリン使用量削減	アイドリングストップ（エコドライブ１０の実施）	全社員に呼びかけ、徹底を図る
		積載オーバー、不要な荷物は積まない	効率的な利用、責任者による定期点検
		月報距離、給油量を記録する	点検時実施
	灯油使用量削減	暖房温度管理　20℃	エアコンとの効率的併用
		時間外事務所使用の短縮	時間外使用を抑える
廃棄物排出量削減	産業廃棄物排出量削減	３Ｓ活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進	分別強化、特に塗料の廃棄時の扱い徹底強化
		関係業者への廃棄物持ち込み削減依頼	担当者が関連作業員へ指導強化
		分別徹底とリサイクル（特に古紙、缶ビン）	再生紙排出量を増やす
	一般廃棄物排出量削減	書類作成時の１枚ベスト・２枚ベター指導	分別強化
		両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減	社内資料の削減
		社内文書の電子化	文書管理方法の検討
水使用量の削減		水道水の出し過ぎない、止水確認	社員の意識づけ強化
		洗い物はまとめて洗う	〃
グリーン商品の購入推進		グリーン商品を優先して使用する	グリーン材料工事の提案
		従業員に周知する	責任者を決める
OA紙使用量削減		コピーの裏面使用、社員の削減意識の徹底	啓蒙活動
		会議のPJ利用、電子媒体の利用	会議方法の提案
省エネ関連工事の受注		エアパス工法他省エネ工事の推進と後方活動	多方面の省エネ提案
		グループ会社の会報を通じてPRする	会報の利用継続
地域活動		鍋林グループ全体で行う事業所周辺の定期清掃	独自の活動を模索する

7．環境活動の取組結果と評価

（1）環境経営目標の実績とその評価、並びに次年度の目標

取組項目	2025年度目標	2025年度実績	達成率	評価	2026年度目標
二酸化炭素排出量削減（ｋｇ－CO2／年）	166,443	140,534	115.6%	◎	2025年実績1.36%削減 138,622
電力使用量削減（ｋｗｈ／年）	31,501	31,450	100.2%	○	2025年実績1.36%削減 31,022
ガソリン使用量削減（リットル／年）	39,673	34,883.0	112.1%	◎	2025年実績1.36%削減 34,408
灯油使用量削減（リットル／年）	10,545	7,596	128.0%	◎	2025年実績1.36%削減 7,492
廃棄物排出量削減（ｔ／年）	358.0	299.0	116.5%	◎	2025年実績1.36%削減 294.0
水使用量の削減（m3／年）	248	290	83.1%	×	2025年実績1.36%削減 286
OA紙使用量削減（枚数／年）	181,497	174,500	103.9%	○	2025年実績1.36%削減 172,126
省エネ関連工事の受注（件数／年）	19	23	121.1%	◎	対前年＋１件 24
グリーン購入（水性塗料）ケミクリートEP、AU（水溶性）購入セット（セット数／年）	10	24	240.0%	◎	対前年＋１件 25
地域活動 事業所周辺の定期清掃（回数／年）	13	12	92.3%	×	13

評価：110%以上◎、100%以上○、95%以上△、95%未満×

電力の二酸化炭素排出量算定、調整後排出係数：中部電力ミライズ0.376kg-CO2/kwh　東北電力0.400kg-CO2/kwh
令和6年度実績（R8.2.25環境省・経済産業省公表）

（2）環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の計画

項目		活動計画の内容	実績・取組結果	評価	次年度の活動計画
二酸化炭素排出量削減	電力使用量削減	エアコンの温度設定（事務所：冷房28℃、暖房20℃、現場事務所：冷房26℃、暖房20℃）	熱中症、労働環境に注意しながら実施	○	エアコンの温度設定（事務所：冷房28℃、暖房20℃、現場事務所：冷房26℃、暖房20℃）
		コピー機等の効率化使用、PC電源OFF	退社時のPC電源OFF	○	エアコンの使用時期、時間の短縮
		昼休みの60分間消灯	毎日実施	○	コピー機等の効率化使用、PC電源OFF
		未使用換気扇電源OFF	毎日実施	○	昼休みの60分間消灯
	使用量削減 ガソリン	アイドリングストップ（エコドライブ10の実施）	啓蒙のみ	○	アイドリングストップ（エコドライブ10の実施）
		積載オーバー、不要な荷物は積まない	啓蒙のみ	○	積載オーバー、不要な荷物は積まない
		月報距離、給油量を記録する	毎月実施	○	月報距離、給油量を記録する
	使用量削減 灯油	暖房温度管理　20℃	エアコンとの併用	○	暖房温度管理　20℃
		時間外事務所使用の短縮	使用時間短縮	○	時間外事務所使用の短縮
廃棄物排出量削減	産業廃棄物	３Ｓ活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進	分別強化、塗料の廃棄時の扱い徹底	○	３Ｓ活動を進め、資材置き場での資材の定位置・定量化を推進
		関係業者への廃棄物持ち込み削減依頼	担当者が関連作業員へ指導	○	関係業者への廃棄物持ち込み削減依頼
		分別徹底とリサイクル（特に古紙、缶ビン）	段ボール、ＯＡ用紙リサイクル実施	○	金属類のリサイクル、容器リユース
	一般廃棄物	書類作成時の１枚ベスト・２枚ベター指導	周知不足	○	紙類の分別を強化し、リサイクルを増加させる
		両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減	会議資料削減	○	コピー枚数の削減、両面コピーを推進
		社内文書の電子化	共有サーバーを強化、電帳法の対応	○	社内文書の電子化、電帳法の対応
水使用量の削減		水道水の出し過ぎない、止水確認	毎日実施	△	水道水を出し過ぎない、止水確認
		洗い物はまとめて洗う	都度実施	△	水道水を無駄に使用しない
グリーン商品の購入推進		グリーン商品を優先して使用する	会議で確認	○	グリーン商品を優先して使用する
		従業員に周知する	会議で確認	○	従業員に周知する
OA紙使用量削減		コピーの裏面使用、社員の削減意識の徹底	裏面印刷増加	○	両面コピー、裏紙使用、コピー枚数削減
		会議のPJ利用、電子媒体の利用	一部実施	○	会議のPJ利用、電子媒体の利用
省エネ関連工事の受注		エアパス工法他省エネ工事の推進と後方活動	多方面の省エネ提案	○	省資源設備への切り替えの提案
		グループ会社の会報を通じてPRする	会報かたばみ掲載	○	グループ会社の会報を通じてPRする
地域活動		鍋林グループ全体で行う事業所周辺の定期清掃	計画実施	△	鍋林グループ全体で行う事業所周辺の定期清掃
			外部団体活動参加	△	上記以外の活動の実施

(3) 環境管理責任者の評価

2025年度の取組項目は6項目を大幅達成でき、2項目が達成できた。未達は水使用量と地域活動の回数であった。達成できた要因は燃料の使用量が減ったことと電気の使用量は減ったことであるが、これは排出係数が下がったことが大きい。水使用量は現場での使用が増えたことと漏水が影響している。地域活動については年間4回の清掃活動を必ず実施しているので、2026年度は回数を増やしたい。建設業界は不安定な中東情勢により、建材の原料であるナフサ不足による品不足と価格高騰で大変厳しい状況下にある。代替品の開拓や工法の変更など当社が対応できることは取り組んでいきたい。それが環境保全活動に結びついていけばよいと思う。

2026年7月10日

百瀬　登

(4) 代表者の評価

2026年度（令和7年度）の業績は売上が21億を超え、純利益も3千万強多くすることができ、よい実績を残すことが出来た。また当年度は未達成の項目もあったが、多くの項目を達成できている。データのうえでもエコアクション21の活動が経営に好影響を与えてくれたことを実感している。今年のようなモデルケースを材料として、エコアクションのどのような活動、取り組みが、業績に好影響を与えたのか、そして、新潟の漏水ついてもしっかり要因を分析し、よりスパイルアップしていくようにして貰いたい。さらに社員の意識の向上も期待している。

代表者見直し	変更の必要性
環境方針	有　□　　無　■
目標活動計画	有　□　　無　■
組織体制	有　□　　無　■

2026年7月10日

倉科　明

8．環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

法規制等の名称	該当する活動	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管、運搬・処分の委託、管理票	遵守
建設リサイクル法	対象工事における届出書面作成	遵守
資源有効利用促進法	分別排出、再生資源化に協力	遵守
消防法	少量危険物の貯蔵と取扱、届出	遵守
道路交通法	道路における対象工事・作業の許可申請	遵守
道路運送車両法	車両の日常点検、整備記録簿	遵守
道路法	継続して道路を使用する対象物件の許可申請	遵守
労働安全衛生法	安全衛生計画を作成、実施する	遵守
毒物及ぶ劇物取扱法	少量劇物の貯蔵と取扱	遵守
フロン排出抑制法	フロン漏えい点検	遵守

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去３年間ありません。